

2020年6月18日
行政報告資料
町田市民病院事務部 経営企画室

町田市民病院中期経営計画（2017年度～2021年度）及び 事業計画の進捗状況について（2019年度）

町田市民病院では、質の高い医療サービスを提供し、安定した病院経営を維持していくために、「町田市民病院中期経営計画(2017年度～2021年度)」及び「2019年度町田市民病院事業計画」を策定し、これに基づき、経営改善を進めております。

このたび、2019年度の進捗状況をまとめましたので、その結果を報告いたします。

添付資料

- ・ 町田市民病院中期経営計画（2017～2021年度）及び事業計画の進捗状況について（2019年度）

町田市民病院中期経営計画（2017～2021年度）及び事業計画の進捗状況について（2019年度）

◎:事業計画目標を上回る
 ○:概ね事業計画目標を達成
 △:事業計画目標を下回る
 ×:事業計画目標を大きく下回る

2020年6月18日
 行政報告資料
 事務部経営企画室

1. 患者・マーケットに関する取組 ～患者サービスの向上と医療連携の推進～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2019年度の実績	自己評価
(1) 患者満足度の向上 【2019年度】 入院患者満足度 90% 外来患者満足度 85%	入院患者満足度 90% 外来患者満足度 90%	入院患者満足度 90.2% 外来患者満足度 87.8%	・患者給食の充実 ・外来待ち時間の短縮	・入院患者満足度は、90.2% (2018年度比0.4ポイント上昇)と今年度の事業計画の目標値を0.2ポイント上回りました。 ・外来患者満足度は、87.8% (2018年度比0.2ポイント減少)なり、中期経営計画の目標値は達成しましたが、更なる向上を目指して設定した今年度の目標値は2.2ポイント下回りました。 ・給食業務委託に関する事業者選定のプロポーザルを実施しました。患者満足度調査で評価の低い病棟の食事アンケート調査の結果を踏まえ、新献立の開発や産後食の満足度を上げるべく献立改定を給食事業者と共同で着手しました。 ・逆紹介の推進による外来患者数の適正化を図り、待ち時間の短縮に繋げる取組みを行っています。	△
(2) 情報提供の充実 【2021年度】 病院ホームページアクセス件数 12万件/月 【2019年度】 病院ホームページへのクリニカルパス掲載数 60件	病院ホームページアクセス件数 11万件/月 病院ホームページへのクリニカルパス掲載数 60件 市民公開講座の開催回数 6回	13.5万件/月 48件 6回	・見やすさを重視したホームページの整理 ・ホームページへのクリニカルパス掲載 ・市民公開講座の開催	・利用者目線の見やすいホームページを目指して、2020年度を目途にホームページをリニューアルすることを決定しました。2020年度の公開に向けて産科ホームページを新たに作成しました。 ・クリニカルパスの掲載に関しては、公開用ページを作成し、公開可能なクリニカルパスを全て公開しました。 ・市民公開講座の開催については医師等との密な連携と企画により、より良い講座を目指しつつ目標通り6回開催しました。参加者からの満足度は合計で90%となりました。	○
(3) 医療連携の推進 【2019年度】 紹介率 65% 逆紹介率 45% 【2020年度】 地域医療支援病院 承認	紹介率 70% 逆紹介率 70% 地域連携交流会開催回数 2回 情報添付加算算定率 45% 地域医療従事者向け研修 15回 医療機関訪問件数 30件	76.5% 70.3% 2回 44.6% 21回 29件	・地域医療支援病院としての機能強化 ・地域医療従事者向け研修の実施 ・医師同行医療機関訪問の実施	・地域からの紹介患者獲得を目指し、医療機関訪問を継続して行った結果、紹介率は76.5%となり、2018年度実績(70.7%)に比べて、5.8ポイント増加しました。 ・退院時のかかりつけ医への積極的な情報提供を継続するなどした結果、逆紹介率は70.3%となり、2018年度実績(65.6%)と比べて、4.7ポイント増加しました。 ・地域医療機関との顔の見える関係づくりをするため、12月と2月に交流会を開催し、院内外合わせて135名の参加がありました。 ・情報添付加算算定率は44.6%となり概ね目標を達成しました。逆紹介時に検査結果等の情報を添付することで地域医療連携における質の向上を目指しています。 ・各種認定看護師や外部講師による地域の医療従事者向けの研修会を21回開催(2018年度実績22回)し目標を上回りました。 ・地域からの紹介患者獲得を目指し、29件の医療機関に対して、医師同行医療機関訪問を実施しました。	◎
(4) 高齢患者に安心な退院支援の充実 【2019年度】 退院支援件数 1,400件/年 (「退院支援加算2」の算定件数)	入退院支援件数 2,500件/年 (「入退院支援加算1」の算定件数) ※入退院支援加算1と入退院支援加算2の主な違い ・病棟への入退院支援職員の配置の要否 ・面談、カンファレンスの実施期限の有無	入退院支援件数 2,424件	・入退院支援の実施	・入退院支援加算件数は2,424件となり、概ね目標を達成しました。 ・入退院支援センターと退院支援看護師、ソーシャルワーカーが連携強化することで、入院前から退院後までの支援に取り組んでいます。 ・住み慣れた地域で療養や生活が継続できるように、在宅医師や看護師、介護支援専門員とカンファレンス等を行い、患者の退院後の療養や生活について情報連携を行いました。	○
(5) 小児医療・周産期医療の確保 【2019年度】 小児入院患者数 22人/日 母体搬送受入件数 75件/年	小児入院患者数 22人/日 母体搬送受入件数 100件/年	17人/日 87件/年	・小児入院体制の維持 ・ハイリスク妊産婦の積極的な受入	・外来診療や予防接種の充実等により入院が必要な児童が減少しており、小児入院患者(新生児内科含む)は17人/日となりました。なお、医師会との連携強化により、紹介率は85.3%と2018年度実績(74.1%)に比べて11.2ポイント増加しました。市内で唯一の小児入院医療施設として、一般診療の他、循環器外来やアレルギー外来などの専門診療を行っています。 ・母体搬送受入件数は87件(7件/月)となりました。南多摩保健医療圏で唯一の地域周産期母子医療センターとして、今後も積極的な受け入れを行っていきます。	△

町田市民病院中期経営計画（2017～2021年度）及び事業計画の進捗状況について（2019年度）

2. 収支改善に関する取組 ～収益の向上と費用の削減を図ります～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2019年度の実績	自己評価
<p>(1) 病床の安定的稼働</p> <p>【2021年度】 病床利用率 85% 新入院患者数 1,000人/月</p>	<p>病床利用率 81.0% 新入院患者数 960人/月 ベッドコントロール体制の再構築 有償利用率 50%</p>	<p>77.9% (一般81.6%、特定55.8%) 895人/月 実施 49.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率の低い病床の活用方法の検討 入院患者の円滑な受入 特別室の利用率向上 	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携の強化や救急患者の受入を積極的に行うことで、新規の入院患者増に努めましたが、新入院患者数は895人/月となり、2018年度実績(900人/月)を僅かに下回りました。また、病床の有効活用のため病床再編プロジェクトを立ち上げ、病棟毎の診療科別病床数の配分等について検討しました。病床再編案を決定し、次年度より適用する準備を整えました。 病院全体の病床利用率は77.9%となり、2018年度実績(78.5%)から0.6ポイント減少しました。なお、特定入院料を算定している小児病棟や緩和ケア病棟などを除いた一般病棟の病床利用率は81.6%となりました。 ベッドコントロール体制を再構築し、朝夕の2回、病棟師長による調整会議を行っており、入院患者の円滑な受け入れにつながっています。 入退院支援センターで特別室の案内を行うなどしたことにより、有償利用率は49.9%となり、2018年度実績(46.7%)と比べて、3.2ポイント上昇しました。 	△
<p>(2) 診療単価の上昇</p> <p>【2020年度】 入院単価 58,000円 外来単価 14,500円</p>	<p>入院単価 62,500円 外来単価 12,500円 総合入院体制加算2の維持 入院3日以内入院精神療法件数 25件/年 ハイケアユニット入院医療管理料 チーム加算の取得</p>	<p>63,778円 12,282円 維持 44件/年 未取得 未取得</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新規施設基準の取得 慢性期患者の逆紹介の推進 算定率向上に向けた取り組みの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 入院単価については適切な入院期間を維持すると共に小児虫垂炎緊急手術などのクリニカルパスの見直しを実施し、単価上昇に繋げることができました。外来単価については、医師事務作業補助者を活用し、安定的に指導管理料の算定に繋げることができました。 総合入院体制加算2の要件である入院3日以内の入院精神療法については44件/年となり、目標を上回ることが出来ました。その他の要件についても、定期的にチェックを行い指標の確認を行っています。 ハイケアユニット入院医療管理料については、検討・分析の結果、当初想定していた設置場所での設置が難しいことが分かり、次年度に再度検討を行っていきます。 排尿ケアチーム加算の取得を目指し、排尿ケアマニュアルを作成し、排尿ケアチームを作りました。次年度に加算の取得を目指します。 	○
<p>(3) 材料費の削減</p> <p>【2017年度】 ジェネリック医薬品使用量比率(DPC) 80% (入院のみ)</p> <p>【2020年度】 材料費削減額 500万円/年 (単価差積算ベース)</p>	<p>院外処方率 90% 薬品費の値引き率 11.0% 診療材料費削減額 550万円/年 (単価差積算ベース)</p>	<p>88.3% 12.2% 792万円/年</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外来患者への院外処方の推進 薬品費の削減 診療材料費の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 院内で患者に薬を渡す際に院外処方推進の通知をしました。また、院内処方のデータを分析し、医師に個別に院外処方推進の依頼をしました。 薬品の値引き交渉を行った結果、値引き率12.2%で妥結しました。 共同購入、商品入替、価格交渉により、診療材料費を年間で792万円削減することができました。 	○
	<p>【その他】 電気使用量 前年度比5%減 施設状況調査及び活用方法検討 自動精算機の使用率 90%</p>	<p>9.0%増 調査の実施 61.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電気使用量の削減 院内空きスペースの有効活用 会計窓口の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> 2019年10月から光熱費全体の削減を目指して、自家発電機の土日の運転を停止するなど運用を変更した結果、電気使用量は前年度比9.0%増となりましたが、ガス使用量は前年度比7.7%減となり、光熱水費全体では5.5%(約1,400万円)削減できました。また、省エネ対応として、24時間系統の東棟スタッフステーションや防災センターの照明のLED化を実施しました。 院内空きスペースについて調査を行いました。今後、調査結果を基に有効な活用方法を検討します。 自動精算機を2台増設し、5台とすることで使用率の向上を目指しましたが、原則廃止予定であった有人窓口の使用を縮小のうえ継続したため、使用率は61.2%にとどまりました。 	△

町田市民病院中期経営計画（2017～2021年度）及び事業計画の進捗状況について（2019年度）

3. 業務向上に関する取組 ～病院機能の向上を図ります～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2019年度の実績	自己評価
(1) 救急診療体制の充実 【2020年度】 救急車による受入患者数 460人	救急車による受入患者数 455人/月 救急応需率 75%	467人/月 68.7%	・救急隊との連携強化	・救急車による受入患者数は467人/月となり、目標値を上回りました。なお、東京消防庁提供資料による直近1年間の応需率は68.7%となり、2018年度実績(69.6%)を0.9ポイント下回りました。 ・「地域医療に関する委員会」にて、地域の救急医療体制について消防署代表や医療関係者と意見交換を行い、連携の強化を図りました。	○
(2) 災害拠点病院としての機能の充実 【2017年度】 連携訓練回数 1回/年	連携訓練回数 1回/年 南多摩保健医療圏災害拠点病院間における通信訓練 1回/年 DMAT隊1編成の維持 災害支援ナース登録数 10人	1回/年 1回/年 維持 10名	・災害時を想定した医療機関等との連携推進 ・DMAT隊員の養成 ・災害支援ナースの養成	・連携訓練については、東京都福祉保健局が主催する広域災害救急医療システムEMISによる情報共有訓練に参加しました。 ・南多摩保健医療圏災害拠点病院間における通信訓練は、災害医療センターの防災FAXや災害時掲示板、BCポータルを利用した通信訓練を2回実施しました。 ・関東ブロック訓練は台風の影響で中止となり実施できませんでしたが、DMAT隊員の能力維持のために墨東病院で実施された国の総合防災訓練に参加しました。 ・日本看護協会の災害支援ナース育成研修へ2名が参加し、災害支援ナースの登録者数は10名になりました。 ・感染症診療協力医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者の受入を2月から開始しました。	○
(3) 急性期病院としての質の向上 【2019年度】 手術件数 4,360件/年 (麻酔科管理件数 2,900件/年) リハビリ実施単位数 5,000単位/月	手術件数 4,475件/年 (麻酔科管理件数 2,955件/年) リハビリ実施単位数 5,500単位/月 悪性腫瘍手術件数 400件/年 クリニカルパスの見直し 特別食加算算定率(糖尿) 82% 予定入院患者に対する持参薬事前確認体制の構築	4,756件/年 (3,087件/年) 5,984単位/年 570件/年 クリニカルパス 見直し実施 77.9% 一部開始	・手術室運営の効率化 ・急性期リハビリの充実 ・がん治療の強化 ・クリニカルパスの定期的な見直し ・PFMの推進 (入院前から退院までの一貫した支援)	・外科・眼科などの手術件数が増加し、手術件数4,756件と過去最高件数となり、また麻酔科管理件数も3,087件となり目標を上回りました。 ・リハビリ実施単位数は、5,984単位/月と過去最高件数となりました。また7月から土曜日のリハビリを実施しています。 ・悪性腫瘍手術件数は570件/年となり、目標を達成しました。 ・クリニカルパスの見直しを実施するとともに、ホームページへ公開専用ページを作成しました。 ・特別食加算算定率については、予定入院患者から対象者の抽出を行うなどして、算定率の向上に努めました。目標の82%に達しませんが、昨年度(76.1%)より向上しており他院とのベンチマーク平均(70.2%)を上回る結果となっています。 ・持参薬事前確認は特定の診療科から開始しました。入退院支援センターとの連携を図るべく調整を行いつつ、段階的に範囲を広げていく予定です。	◎
(4) 病院機能評価の更新 【2017年度】 病院機能評価の更新	定期的な業務改善の実施	実施	・業務改善の継続的な実施	・診療マニュアルの見直しをするとともに業務改善を継続しつつ、その内容について機能評価機構への中間報告として、所定のデータ提出を実施しました。	○
(5) 外来機能の効率化 【2021年度】 外来患者数 1,000人以下/日 【2019年度】 地域連携予約枠利用者数 400人/月 逆紹介件数 970人/月	外来患者数 1,070人/日 逆紹介件数 1,250件/月 文書作成補助業務従事者数 9人 医師事務作業補助者による返書作成件数 916件/月	1,085人/日 逆紹介件数 1,255件/月 文書作成補助業務従事者数 9人 医師事務作業補助者による返書作成件数 917件/月	・医師の負担軽減	・外来患者数は1,085人/日となり、目標を概ね達成しました。 ・退院患者に対するかかりつけ医への積極的な情報提供を継続するなどした結果、逆紹介数は1,255件/月となりました。 ・地域医療機関からの紹介予約件数は431件/月となり、2018年度実績(422人/月)と比べて9件/月増加しました。 ・医師事務作業補助者が文書作成補助業務を行えるよう育成し、9人の従事者数を確保、人員配置を行える体制を整えました。これにより、返書作成件数は目標を達成しました。また、医師の返書作成割合は42.1%(2018年度比13.3ポイント減)となり、負担軽減に繋がりました。	○
(6) 外来化学療法センターの運営効率化 【2019年度】 化学療法実施件数 200人/月	化学療法実施件数 200人/月	181人/月	・ベッドの効率的な運用	・化学療法委員会から診療科へ働きかける事で、曜日ごとの予約数のバラつきが改善しましたが、181人/月(2018年度比1人増)となり目標を下回りました。	△

町田市民病院中期経営計画（2017～2021年度）及び事業計画の進捗状況について（2019年度）

4. 進化・成長に関する取組 ～人材の安定確保と育成を図ります～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2019年度の実績	自己評価
<p>(1) 質の高い病院職員の安定確保</p> <p>【2021年度】 (常勤職員数) 医師 93人 医療技術 97人 看護師等 402人 事務 42人 (うち病院専任) 14人 計 634人</p>	<p>病院専任事務職員数 13人 臨床研修指導医 20人</p>	<p>14人 22人</p>	<p>・病院事務職員の専門性向上 ・研修医師の指導体制の充実</p>	<p>・医事事務1名と医療ソーシャルワーカー1名を採用し、病院専任事務職員は14人(医事事務9名、医療ソーシャルワーカー5名)となりました。</p> <p>・臨床研修指導医は、2018年度末に1名が退職し、18名となりましたが、2019年度に新たに4名が指導医講習会を受講し22名となりました。</p> <p><2020年3月1日時点> 医師 86人 医療技術 99人 看護師等 393人 事務 42人 (うち病院専任) 14人 計 620人 ※育休及び退職者は含まず</p>	○
<p>(2) 質の高い医療従事者の育成</p> <p>【2019年度】 医療安全・感染対策講習会延参加人数 3,600人/年</p>	<p>医療安全講習会受講率 100% 感染対策講習会受講率 100%</p>	<p>医療安全講習会受講率 96.9% 感染対策講習会受講率 99.0%</p>	<p>・医療安全・感染対策などの研修の必修化 ・医療管理職研修の開催</p>	<p>・研修当日に受講できなかった職員を対象にビデオ上映、DVD貸出で研修参加率の向上に取り組んだ結果、医療安全講習会(3回開催)は、2,423人が参加し受講率は96.9%(2018年度比0.9ポイント上昇)、感染対策講習会(2回開催)は、1,637人が参加し受講率は99.0%(2018年度比6.0ポイント上昇)となりました。</p> <p>・医療管理職研修は管理職向けハラスメント研修等を検討しましたが、実施することができませんでした。</p>	△
<p>(3) 職員満足度の向上</p> <p>【2021年度】 職員満足度 65%</p>	<p>職員満足度調査結果に基づいた業務改善</p>	<p>実施</p>	<p>・職員満足度調査結果に基づいた業務改善</p>	<p>・病院経営特別講座「市民病院のお財布事情」を開催し、100人の参加者がありました。講座では、過去5年の現金残高の推移や今後控えている電子カルテ更改等、出費の見通しなどを分かりやすく説明し職員のコスト意識の醸成を行いました。</p> <p>・風通しが良く働きやすい職場を目指して職員交流会を開催し、184名が参加しました。また、病院運営に大きく貢献した職員の表彰を行いました。</p>	○